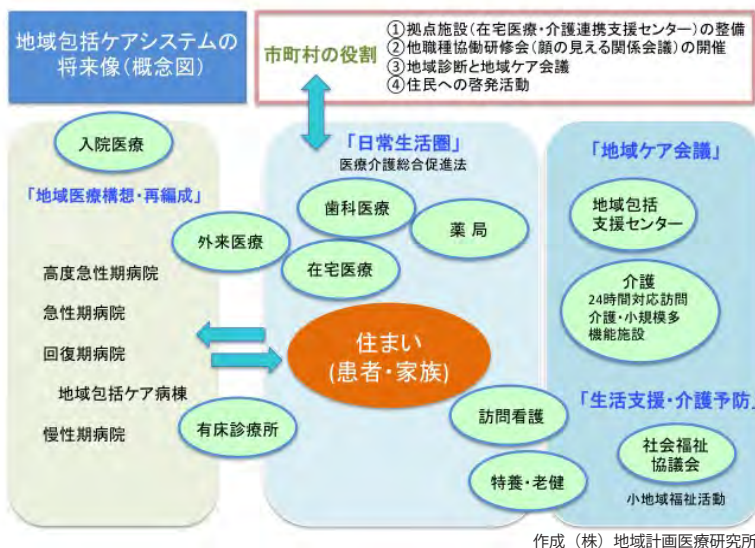


病院のみらいと、町づくりのこれからを語る

地域包括ケアは、「地域の誰もが健康で生きがいに満ちて、いつまでも安心して住み続けることができ その人らしく最期を迎えることができる 日常生活圏域のまちづくり」と定義したい。「病院・施設から在宅へ」といわれるように、病院中心の時代から 在宅医療・介護中心の地域包括ケアの時代へと世の中が大きく変化する中で、病院広報にもとめられる役割とは何か、をテーマにお話します。

要点は、

- ①病院の未来と共に、地域の未来を語ること
 - ②日常生活圏のまちづくりの中での病院の位置と役割を明確にすること
 - ③病院医療と在宅医療介護の特質や考え方の違いを理解すること
 - ④在宅の受け皿、医療・介護サービスの拠点づくりの方向を示すこと
 - ⑤暮らしの専門家としての地域住民との協力協働
- の5点が重要であると考えている。(美留町)



専門の目で捉える

地域包括ケア時代と病院広報 認定3単位

日時：9月16日(土) 午後1時～5時(受付12:45～)

会場：京都市生涯教育総合センター(アスニー山科) 2階

講師略歴：

美留町利朗(みるまち・としろう)氏



1980年立命館大学院にて社会学修士取得。1985年(株)関西計画技術研究所主任研究員。1996年(株)地域計画医療研究所を設立し、代表取締役役に就任し現在に至る。2008～2009年同志社大学大学院ビジネス研究科嘱託講師。2014年より公益社団法人日本医療経営コンサルタント協会地域包括ケア専門分科会委員長。NPO法人日本HIS研究センター理事

受講料：HIS会員 8,640円 非会員・一般の方 12,960円(税込)

対象：病院・診療所・介護施設・調剤薬局などの広報などのコミュニケーション担当者

交通：京都・アスニー山科 (JR山科駅または地下鉄東西線山科駅隣接・大丸前)

認定：3単位 (12単位修得+修了レポート合格でHIS広報プランナー認定)

受講申込など詳しいご案内は、<http://www.j-his.jp/>のトップからご覧ください。またはフリーダイヤル0120-976-629で下記までご相談ください。

伝えたい。知りたい。よくしたい。ヘルスケアを変えるNPO

NPO 法人日本 HIS 研究センター
事務局・会員サポートデスク

〒604-8112 京都市中京区柳馬場三条下ル 六角アーバンリス 502

電話 075-741-8219・Fax 075-741-8229 mail: info-his@j-his.jp



<http://www.j-his.jp/>